

平成29年度宮城県・仙台市公立学校 教員採用候補者選考要項

宮城県教育委員会
仙台市教育委員会

- 【受付期間】 平成28年4月22日（金）～平成28年5月19日（木）
 【出願方法】 原則としてインターネットによる電子申請
 【第1次選考】 平成28年7月23日（土）・24日（日）
 【第2次選考】 平成28年9月16日（金）・17日（土）または9月19日（月）・20日（火）

平成29年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考（以下、「選考」という。）は、宮城県教育委員会と仙台市教育委員会が共同で次のとおり実施する。

I 採用校種・職種・教科等・採用予定者数

採用校種・職種・教科等・採用予定者数については下記のとおりとする。

採用校種・職種	教科（科目）等	留意事項等	採用予定者数
小 小学校教諭		① ②	280人程度
中 中学校教諭	国語，社会，数学，理科，技術，英語	① ②	中学校教諭 160人程度
中・高 中学校教諭・高等学校教諭	保健体育，音楽，美術，家庭	① ② ③	高等学校教諭 85人程度
高 高等学校教諭	国語，公民，地理歴史（日本史，世界史，地理），数学，理科（物理，化学，生物，地学），農業，水産（機関係），工業（機械，電気・電子，建築），商業，英語，福祉	① ②	
養護 養護教諭		① ② ④	15人程度
栄養 栄養教諭	栄養教諭A（宮城県・仙台市内で勤務する県費負担栄養職員）	① ② ⑤	若干名
	栄養教諭B（栄養教諭A以外の者）		若干名

* 採用予定者数は、平成28年4月18日現在の見込数であり、実際の採用数とは異なる。

【留意事項等】

- ① 「教諭」には、日本国籍を有しない者が任用される「期限を付さない講師（常勤）」が含まれる。
- ② 特別支援学校への採用を希望する場合でも、**小**（小学校教諭），**中**（中学校教諭），**中・高**（中学校教諭・高等学校教諭），**高**（高等学校教諭），**養護**（養護教諭），**栄養**（栄養教諭）のいずれかを選び出願すること。
 また、出願の際、特別支援学校への採用希望の「有」「無」を採用願書の所定の欄に入力すること。
 ただし、希望した場合でも、特別支援学校で採用されるとは限らない。
- ③ 中学校教諭・高等学校教諭の保健体育，音楽，美術，家庭については、中学校，高等学校の区別なく一括しての採用となる。
- ④ 養護教諭については、校種の区別なく一括しての採用となる。
- ⑤ 栄養教諭については、A・Bいずれの出願者も採用後の配置において県内の義務教育諸学校，県立学校および特別支援学校となる。（なお、宮城県内・仙台市内で勤務する県費負担栄養職員は栄養教諭Aへ、それ以外は栄養教

論 B へ出願すること。また、栄養教諭 A の出願者は「**人物証明書**」の提出を必須とする。「人物証明書」は、「人物証明書の記入・提出について」にしたがって記入し提出すること。）

II 選考種別 ・ 出願資格 ・ 選考内容

1 選考種別

選考においては、採用校種ごとに以下の選考種別がある。

- (1) 一般選考
- (2) 教職経験者特別選考
- (3) 障害者特別選考

2 出願資格

A 高等学校の水産を除くすべての校種・職種・教科等

下記の要件 (1) , (2) をともに満たしている者。

- (1) 学校教育法第 9 条及び地方公務員法第 16 条の欠格条項に該当しない者。
- (2) 平成 29 年 4 月 1 日時点で有効である志願する採用校種及び職種別の教育職員普通免許状（小学校教諭，中学校教諭，養護教諭及び栄養教諭は，専修，一種又は二種免許状のいずれか，高等学校教諭は専修又は一種免許状のいずれか）を所有している者，又は平成 29 年 3 月 31 日までに取得見込みの者。

B 高等学校水産 ※今年度は機関係を募集します。

A (1) に加え，すべての選考種別において，次のア，イの要件をともに満たしている者。

- ア 平成 29 年 4 月 1 日時点で有効である高等学校教諭水産又は商船の専修又は一種の普通免許状を有している者，又は平成 29 年 3 月 31 日までに取得見込みの者。
- イ 船舶職員及び小型船舶操縦者法に定める 3 級以上の海技士資格（機関）を有している者，又は平成 29 年 3 月 31 日までに取得見込みの者。^(注1)

(注 1) 出願時の電子申請にて，「取得資格等」の「資格名」欄に必ず「〇級海技士資格（機関）」（取得見込みの場合は「取得見込み」を追記）のいずれかを入力すること。

3 選考内容

すべての選考種別において，第 1 次選考・第 2 次選考を実施する。

(1) 一般選考

1) 出願要件

II-2 に定める出願資格を満たしている者。

2) 選考内容

第 1 次選考	<ul style="list-style-type: none">・筆記試験 1（専門教養）・筆記試験 2（教職教養又は小論文）・実技試験（小学校，中・高保健体育，中・高音楽，中・高美術）・適性検査
----------------	---

* 第 2 次選考は第 1 次選考合格者についてのみ行う。

第 2 次選考	<ul style="list-style-type: none">・模擬授業・個人面接 1・2・実技試験（小学校，中学校英語，中・高家庭，高等学校英語，高等学校福祉）
----------------	--

栄養教諭 A を受験する者は，第 1 次選考の筆記試験 2 は「教職教養」を「集団面接」とする。

下記ア～エのいずれかに該当する者は、第1次選考の筆記試験2において、「教職教養」を「小論文」に替えて出願することができる。

ア 民間企業等現職者

出願時において、民間企業又は官公庁等（以下「事業所等」という。）の常勤の正規職員（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教育職を除く）であり、平成28年4月1日現在において、5年以上継続して同一事業所等（系列事業所も含む）に正規職員として勤務している者。

イ JICAボランティア経験者

JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施するJICAボランティア事業において、「青年海外協力隊」、「日系社会青年ボランティア」、「シニア海外ボランティア」又は「日系社会シニア・ボランティア」として、平成18年4月1日から平成28年3月31日までの10年間に於いて、通算2年以上の派遣経験を有する者。（短期ボランティアは除く。）

ウ 教育職現職者

出願時に、学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭のいずれかとして勤務している（休業等の者を除く）者。又は、出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校において、実習助手、寄宿舎指導員のいずれかとして勤務している（休業等の者を除く）者。

エ 講師等経験者

出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校において、講師等^(注1)（常勤講師、非常勤講師、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手、代替寄宿舎指導員）として勤務しており、下記の①、②のいずれかに該当する者。

- ① 平成25年4月1日から平成28年5月19日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での常勤講師、代替養護教諭、代替栄養教諭、又は非常勤講師（1週あたりの勤務時間が29時間以上）としての経験が通算12月以上ある者。
- ② 平成25年4月1日から平成28年5月19日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での非常勤講師で、年度を通して任用（長期休業期間を除いた1年間）があり、1週あたりの授業時間が単位時間あたり（45分）の授業で10コマ以上（1週あたり450分以上）の非常勤講師として経験がある者。なお、複数校で同時に年度を通して任用がある非常勤講師で、各々の勤務校での授業時間を合算して1週あたり450分以上となる者も含む。

<例>単位時間50分の授業であれば9コマ以上（50分×9コマ＝450分）、65分の授業であれば7コマ以上（65分×7コマ＝455分）となる。

(注1) 常勤講師の中には、宮城県内の市町村が小学校・中学校で臨時的任用をしている教育職員（採用条件として教員免許の所有を定め、勤務時間が1週あたり38時間45分以上の者）を含む。また、非常勤講師については、採用条件として教員免許の所有を定めているものとする。

【留意事項等】

JICAボランティア経験者、教育職現職者、講師等経験者の該当者が、第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えて出願する場合、教育職現職者及び講師等経験者の該当者については「勤務証明書」、JICAボランティア経験者の該当者については「派遣証明書」を、必ず提出すること。民間企業等現職者の該当者については、出願時の「在職証明書」の提出は不要とする。

* JICAボランティア経験者の「派遣証明書」は、JICAに申請を行い取得すること。

* 教育職現職者及び講師等経験者の「勤務証明書」は、「勤務証明書の記入・提出について」にしたがって記入し提出すること。

3)採用校種・職種・教科等

小 (小学校教諭) , 中 (中学校教諭) , 中・高 (中学校教諭・高等学校教諭) , 高 (高等学校教諭) , 養護 (養護教諭) 又は 栄養 (栄養教諭) のいずれかとする。

4)採用予定者数

「I 採用校種・職種・教科等・採用予定者数」で示したとおりとする。

(2) 教職経験者特別選考

1) 出願要件

Ⅱ－2に定める出願資格を満たし、かつ、次の出願要件①、②のうち、いずれかに該当する者。

なお、「教職経験者特別選考」の対象者であっても「一般選考」に出願は可能であるが、「一般選考」と「教職経験者特別選考」に同時に出願することはできない。

選考種別	出 願 要 件
教職経験者特別選考	① 出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の実習助手、寄宿舎指導員、常勤講師 ^(注1) 、非常勤講師 ^(注1) 、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員のいずれかとして勤務しており(休業等の者を除く)、平成23年4月1日から平成28年5月19日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が通算24月以上ある者。 (注1) 常勤講師の中には、宮城県内の市町村が小・中学校で臨時的任用をしている教育職員(採用条件として教員免許の所有を定め、勤務時間が1週あたり38時間45分以上の者)を含む。また、非常勤講師については、採用条件として教員免許の所有を定めているものとする。
	② 出願時に学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上勤務している(休業等の者を除く)者。

2) 選考内容

第1次選考	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験1(専門教養) ・集団面接 ・実技試験(小学校、中・高保健体育、中・高音楽、中・高美術) ・適性検査
-------	--

* 第2次選考は第1次選考合格者についてのみ行う。

第2次選考	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業 ・個人面接1・2 ・実技試験(小学校、中学校英語、中・高家庭、高等学校英語、高等学校福祉)
-------	---

3) 採用校種・職種・教科等

小 (小学校教諭)、 中 (中学校教諭)、 中・高 (中学校教諭・高等学校教諭)、 高 (高等学校教諭)、 養護 (養護教諭) 又は 栄養 (栄養教諭B) のいずれかとする。

4) 採用予定者数

一般選考採用予定者数に含める。なお、第1次選考の合格者の数については、一般選考と教職経験者特別選考の受験者数に応じて決定することを原則とする。

5) 出願手続き上の注意

出願にあたっては、「人物証明書」を必ず提出すること。「人物証明書」は、「人物証明書の記入・提出について」にしたがって記入し提出すること。

(3) 障害者特別選考

1) 出願要件

Ⅱ－2に定める出願資格を満たし、かつ、次の出願要件①、②をともに満たしている者。

なお、「障害者特別選考」の対象者であっても「一般選考」に出願は可能であるが、「一般選考」と「障害者特別選考」に同時に出願することはできない。

選考種別	出 願 要 件
障害者特別選考	<ul style="list-style-type: none"> ① 身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者。 ② 自力による通勤及び職務遂行が可能な者。

2) 選考内容

- ・ 選考は原則として一般選考と同様に行うが、「**配慮事項申出書**」を提出することにより、障害の種類や程度に応じて、実技試験の一部免除等を行う。
- ・ 試験における具体的な配慮事項については、教職員課担当者が受験者と直接相談の上決定する。

<第1次選考試験における配慮例>

点字受験	◇試験問題の点字による出題 ◇試験時間の延長
手話受験	◇監督員に手話のできる者を配置し、指示事項を手話や書面により伝達 ◇補聴器等の聴覚補助具の使用
拡大文字受験	◇試験問題の文字の拡大 ◇試験時間の延長 ◇ルーペ等の視覚補助具の使用
車椅子受験	◇車椅子での入退場ができる受験教室の用意 ◇受験教室が車椅子用トイレに近接するように留意

3) 採用校種・職種・教科等

一般選考と同様とする。

4) 採用予定者数

若干名とする。

5) 出願手続き上の注意

出願にあたっては、「身体障害者手帳の写し」を必ず提出すること。また、受験上何らかの配慮を必要とする場合には「配慮事項申出書」を提出すること。

Ⅲ 出願方法 ・ 提出書類

1 出願方法

出願は、原則として「電子申請」とする。

申請にあたってはWeb ページ上の「電子申請マニュアル」等を参照し、正確に入力すること。

(1) 受付期間 : 平成28年4月22日(金) 午後1時 ~ 平成28年5月19日(木) 午後5時
(電子申請は平成28年5月19日(木) 午後5時までに完了すること。)

(2) アクセス先 : 宮城県教育庁教職員課 (<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>)

(3) その他 : 電子申請が困難な場合は、宮城県教育庁教職員課(022-211-3637)へ問い合わせを行うこと。

2 提出書類 (※印については、該当者のみ提出すること)

時期	提出する書類等	注意事項
出願時	①採用願書 ②履歴書(様式第6号) ③身体障害者手帳の写し※ ④配慮事項申出書(障害者特別選考)※ ⑤人物証明書※ ⑥勤務証明書※ ⑦派遣証明書※ ⑧配慮事項申出書(一般選考)※ ⑨名簿登載猶予願い※	→原則として電子申請とする。 →電子申請の際に履歴書を添付して申請すること。 →障害者特別選考の場合のみ、郵送により宮城県教育庁教職員課へ提出すること。提出の締切については 平成28年5月19日(木)(当日消印有効) とする。 →点字による受験、実技の一部免除等、受験上何らかの配慮を必要とする場合に提出すること。(注1) → 教職経験者特別選考 及び 栄養教諭A の出願者は必ず提出すること。(注1)(注2) →一般選考において、 教育職現職者 及び 講師等経験者 に該当する者が、 教職教養 を小論文に替えて出願する場合は必ず提出すること。(注1)(注2) →一般選考において、 JICAボランティア経験者 に該当する者が、 教職教養 を小論文に替えて出願する場合は必ず提出すること。(注3) →選考会場において車椅子の使用を希望する場合等、何らかの配慮を必要とする場合に提出すること。(注1) →大学院修士課程、又は教職大学院への進学予定者、もしくは在学者で採用候補者名簿登載の猶予を希望する場合に提出すること。(注1)
第1次選考時	①採用願書(様式第5号) ②履歴書(様式第6号) ③出願者名票 ④所定の「切手貼付用紙」に372円分の切手を貼付したもの。切手は必ず92円切手1枚、280円切手1枚を貼付すること。	→電子申請システムから交付された採用願書(受験番号が付されているもの)を各自印刷し、写真を貼付し第1次選考当日提出すること。(注4) →出願時に提出した履歴書を各自印刷し、押印して第1次選考当日提出すること。(注4) →電子申請システムから交付された出願者名票を各自印刷し、採用願書と同一の写真を貼付し第1次選考当日持参すること。(注4) →「切手貼付用紙」は、Webページ上の「各種様式」から入手し、所定の切手を貼付し第1次選考当日提出すること。
第2次選考時	①最終学校の卒業証書の写し、又は最終学校の長の卒業証明書又は修了証明書 ②教育職員普通免許状の写し(A4判)、又は免許状取得見込証明書(なお、これまでに免許更新講習修了確認、延期又は免許の申請をした者は、当該証明書の写しを併せて提出すること。) ③海技士免状の写し※ ④管理栄養士又は栄養士の免許証の写し(「栄養教諭」に出願し、認定講習等を受講し免許状を取得する予定の者)※ ⑤配慮事項申出書※ ⑥所定の「切手貼付用紙」に372円分の切手を貼付したもの。切手は必ず92円切手1枚、280円切手1枚を貼付すること。	→卒業見込の者は「卒業見込証明書」を、第2次選考当日提出すること。 →免許状は、所有するすべての免許状の写しを1通ずつ第2次選考当日提出すること。 なお、婚姻等により免許状記載の氏名から姓が変更されている場合には、戸籍抄本等改姓の内容がわかる書類を提出すること。 →水産に出願した者は、3級以上の海技士資格を有することを証明する免状の写しを第2次選考当日提出すること。 →「栄養教諭」に出願し、認定講習等を受講し栄養教諭免許状を取得する予定の者は、②に替えて栄養教諭免許状取得計画書(第1次選考結果通知時に指示されたもの)と④を第2次選考当日提出すること。 →実技試験又は面接等において、何らかの配慮を必要とする場合には、事前に宮城県教育庁教職員課へ連絡の上、提出すること。提出の締切については 平成28年9月9日(金)(当日消印有効) とする。 →「切手貼付用紙」は、Webページ上の「各種様式」から入手し、所定の切手を貼付し第2次選考当日提出すること。

	⑦その他(第1次選考結果通知時に指示されたもの。)	
採用候補者名簿登録後	①在職証明書(勤務経験のある者)等※	→在職証明書を提出する際は、Webページ上の「各種様式」から入手すること。

- (注1) 当該書類を提出する際は、Webページ上の「各種様式」から入手し、宮城県教育庁教職員課へ郵送すること。書類提出の締切については**平成28年5月19日(木)(当日消印有効)**とする。
- (注2) 「人物証明書」及び「勤務証明書」は、受験者本人の記入欄に記入の上、所属長に作成及び送付を依頼すること。提出方法は、受験者の所属長からの簡易書留(親展)による郵送のみとする。
- (注3) 当該書類を提出する際は、JICA(独立行政法人国際協力機構)に問い合わせの上、様式等を入手し、宮城県教育庁教職員課へ郵送すること。提出方法は、簡易書留(親展)による郵送のみとする。書類提出の締切については**平成28年5月19日(木)(当日消印有効)**とする。
- (注4) 「採用願書」及び「出願者名票」については、7月中旬までに電子申請システムを通じて受験番号及び受験会場を記載の上、各受験者へ交付するので、各自で印刷すること。第1次選考当日、「採用願書(受験番号を付したもの)」、「履歴書」については提出、「出願者名票」については持参すること。

* 提出された書類等は返却しない。

* 記載内容に偽りがあった場合は受験を認めない。また、合格を取り消す場合がある。

* **郵送による提出物等の送付先**

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

宮城県教育庁教職員課 教員任用班 教員採用担当

IV 選考日程・会場等

1 第1次選考

- (1) 期 日：平成28年7月23日(土) 午前：適性検査
：筆記試験1(専門教養)
午後：筆記試験2(教職教養又は小論文)
：集団面接(教職経験者特別選考で受験する者のみ)
- 平成28年7月24日(日) 全日：実技試験(実技試験のある者のみ)
：集団面接(教職経験者特別選考で受験する者のみ)

(2) 会 場：筆記試験・実技試験の会場については、下記のとおりとする。

なお、受験者各自の受験会場については、「出願者名票」を受験者へ交付する際に通知する。

① 筆記試験については、次の5会場とする。

会 場	住 所
宮城県仙台第一高等学校	仙台市若林区元茶畑4
宮城県仙台二華中学校・高等学校	仙台市若林区連坊1-4-1
宮城県仙台三桜高等学校	仙台市太白区門前町9-2
宮城県工業高等学校・宮城県第二工業高等学校	仙台市青葉区米ヶ袋3-2-1 (2校は同一敷地内)
東京海洋大学品川キャンパス (注1)	東京都港区港南 4-5-7

(注1) **東京会場**では、以下の校種、職種、教科等についての選考を実施する。ただし、出願の際、東京会場での受験を選択した場合のみ受験できる。なお、東京会場では障害者特別選考は行わない。

中	(中学校教諭)の国語、社会、数学、理科、技術、	中・高	(中学校・高等学校教諭)の家庭、
高	(高等学校教諭)の国語、公民、地理歴史、数学、理科、農業、水産、工業、商業、福祉、		
養護	(養護教諭)、	栄養	(栄養教諭B)

② 実技試験については、次の5会場とする。

会 場	住 所
仙台市立荒町小学校	仙台市若林区荒町86
仙台市立長町南小学校	仙台市太白区長町7-23-1
仙台市立旭丘小学校	仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-1
仙台市立富沢小学校	仙台市太白区富沢字中河原17-1
宮城県仙台第二高等学校	仙台市青葉区川内澗橋通1

(3) 日程及び選考内容

月 日	時 刻	内 容	注 意 事 項
7 月 23 日	8:30 ~ 9:00	受 付 (入室)	① 筆記試験1, 筆記試験2には、実践的指導力を問う内容を含む。 ② 高等学校の地理歴史, 理科, 水産, 工業の筆記試験1は当該教科すべての領域にわたる共通問題と各自の専門領域の問題から構成される。 ③ 中学校英語及び高等学校英語の筆記試験1には、リスニング問題を含む。 ④ 筆記試験2を小論文で受験できるのは、教職教養を小論文に替えることができるとされた者のみ。 (II. 3. (1)を参照のこと) ⑤ 中・高の保健体育, 音楽, 美術の筆記試験1は12:00で終了する。 ⑥ 教職経験者特別選考受験者・栄養教諭Aの集団面接についての詳細(面接時間・場所等)は第1次選考当日指示をする。
	9:10 ~ 9:20	諸注意・諸連絡	
	9:30 ~ 10:30	適性検査	
	11:00 ~ 12:40 (12:00)	筆記試験1 (専門教養) 各校種, 各教科・科目に関する専門分野	
	12:40 ~ 13:10 (12:00~12:30)	採用願書等の提出	
	13:10 ~ 14:20	昼食・休憩	
	14:30 ~ 15:40	筆記試験2 (教職教養又は小論文)	
14:30 ~ 17:00	集団面接 (教職経験者特別選考受験者)		
7 月 24 日	9:00 ~ 17:00	実技試験 集団面接 (教職経験者特別選考受験者)	⑦ 小学校, 中・高の保健体育, 音楽, 美術の受験者の実技試験を行う。

(4) 準備物 (全受験者共通)

- ① 筆記用具 (B又はHBの鉛筆, 文字や図等のない無地の下敷きも持参すること。)
- ② 上履き (上履きが必要な会場については、後日送付する「受験上の注意」で連絡する。)
- ③ 昼食
- ④ その他

* 電卓や翻訳機等 (これらの機能等が付属している時計を含む。) の持ち込みは禁止する。
 ただし、以下の教科の受験者に限り、条件に合う電卓のみ持ち込みを認める。

・ **高等学校工業の受験者** 筆記試験1において**関数電卓 (ポケットコンピュータは除く)** の使用を認める。

- ・ **高等学校商業の受験者** 筆記試験1において下記の条件を満たす電卓の使用を認める。
 高等学校商業の電卓の条件
 - ・ 関数電卓及びポケットコンピュータは不可とする。
 - ・ 大きさは20cm×15cm以内のものとする。
- * 以下の教科の受験者については、筆記試験1において使用することがあるので、それぞれに示す用具を持参すること。
 - ・ **中学校数学, 高等学校数学, 中学校技術及び高等学校工業の受験者** 目盛り入り三角定規一組, コンパス
 - ・ **小学校, 中学校理科, 高等学校理科の受験者** 直線を引くことのできる定規
- * その他必要な準備物については、出願者名票を交付(送付)する際に連絡することがあるので注意すること。

(5) 実技試験の内容等

採用校種	教科	試験内容	◎注意事項 ・ ◆準備物
小学校		1 水泳 (25m) 2 ボール運動 (基本的動作)	◎クロール又は平泳ぎのどちらか1つの泳法で泳ぐこと。 ◆水着, 水泳帽 ◆運動着 (15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し, 胸と背中に縫い付けてくること。) ◆屋内用運動靴
中学校・高等学校	保健体育	【共通種目】 ・水泳, 陸上競技, 器械運動(マット), ダンス 《球技選択》 ・バスケットボール ・バレーボール のうち1種目選択 《武道選択》 ・柔道 ・剣道 のうち1種目選択	◎《球技選択》及び《武道選択》の中から各1種目を選択し, 採用願書の「受験教科(科目)」の欄に選択した組合せを入力(記入)すること。 ◆運動着 (15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し, 胸と背中に縫い付けてくること。) ◆運動靴 (屋内用と屋外用を持参) ◆水着, 水泳帽 ◆柔道選択者: 柔道着 (柔道着の背中に15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し, 背中に縫い付けてくること。) ◆剣道選択者: 防具・竹刀・剣道着は不要。
	音楽	【共通試験】 1 8小節程度の当日指定された旋律に伴奏をつけたピアノ演奏を行う。 2 以下にあげる曲から当日指定の1曲を自分でピアノ伴奏をしながら歌唱する。 ・「荒城の月」(土井晩翠作詞/滝廉太郎作曲) ・「帰れソレントへ」(G. B. クレティス作詞/E. De. クレティス作曲) ・「この道」(北原白秋作詞/山田耕筰作曲) 《選択A》 ピアノ, 管, 弦, 打楽器のうちの楽器で任意の1曲を演奏する。 《選択B》 歌曲, アリアから任意の1曲を演奏する。	◎選択A, 選択Bのいずれかを選択し, 採用願書の「受験教科(科目)」の欄に「音楽(選択A)」又は「音楽(選択B)」のいずれかを選択し入力すること。 ◎【共通試験】2については, 調は問わない。原語で歌唱する。また, ピアノ伴奏については, 教科書に記載されている程度とする。 ◎《選択A》及び《選択B》で伴奏を必要とする場合は, 伴奏者を同伴すること。 ◎《選択A》でピアノ以外の楽器を使用する場合は各自持参すること。 ◎【共通試験】2, 《選択A》及び《選択B》については, 楽譜を持参してもよい。
	美術	絵画表現 ※ 時間は180分	◎課題は当日提示する。 ◆絵画用具一式(絵具は水彩絵具, アクリル絵具いずれも可), 画用鉛筆, 消しゴム

2 第2次選考（第1次選考合格者についてのみ行う）

(1) 期 日：平成28年9月16日(金)・17日(土)または19日(月)・20日(火)

上記のうち16日(金)・17日(土)の2日間、または19日(月)・20日(火)の2日間となる。

*いずれの日程になるかについては別途本人あて通知する。

(2) 会 場：別途本人あて通知する。

(3) 選考内容：

① 模擬授業

- ・ 模擬授業前に示された課題内容（教科書等の教材の数ページを指定する等）により指導案（一単位時間分の略案A4判1枚程度）を作成する。
- ・ 上記指導案の一部について模擬授業を実施し、授業後に試験官からの質疑に答える。
- ・ 小学校の受験者については「国語・算数」（受験者にはいずれか1教科を当日指定する）、中学校・高等学校については「各専門教科」、養護教諭については「保健」、栄養教諭については「食に関する指導」の授業を行う。

② 個人面接

- ・ 個人面接1 民間人を含む複数の面接委員による面接を行う。
- ・ 個人面接2 複数の面接委員による面接を行う。

③ 実技試験 下記のとおりとする。

採用校種	教科	試 験 内 容	◎注意事項 ・ ◆準備物
小学校		「ピアノ」 小学校第3学年以上の歌唱教材から任意の1曲を選び、伴奏曲を弾く。 「体育実技」 マット運動	◎楽譜を持参してもよい。 ◆運動着（15cm×20cmの白布に墨又は黒の油性ペンで受験番号を記入し、胸と背中に縫い付けてくる） ◆屋内用運動靴
中学校 ・ 高等学校	英語 ・ 家庭	示された資料の朗読及び英語による面接 被服（被服製作） 食物（調理実習）	 ◎被服及び食物実技の両方を実施する。 ◆裁縫セット、エプロン、三角巾、手拭き用タオル
高等学校	福祉	介護実習	◆運動着 ◆屋内用運動靴

3 選考基準

(1) 第1次選考

- ・ 筆記試験1、筆記試験2、実技試験及び集団面接の結果を選考資料とし、願書・履歴書の記載内容、人物証明書及び勤務証明書の記載内容を勘案して総合的に選考する。ただし、適性検査の結果は、選考資料には用いない。
- ・ 筆記試験1、筆記試験2、実技試験又は集団面接のいずれかにおいて著しく低い成績があった場合には不合格となることがある。

1) 筆記試験 1 (専門教養)

採用校種・教科 (配点)		主な評価の観点
小学校(160点)		・小学校教員として必要な専門的知識や教養, 指導力等を総合的に身に付けているか。
中学校	国語・社会・数学・理科・技術(200点) 英語(筆記150点・リスニング 50点)	・教員として必要な教科科目の専門的知識を身に付けているか。 ・生徒の学習意欲を高めるような指導力を身に付けているか。
	中・高	
高等学校	国語・公民・数学・農業・商業・福祉 (200点) 英語(筆記150点・リスニング 50点)	
	地理歴史・理科・水産・工業(共通80点・専門120点)	
養護教諭(200点)		・養護教諭や栄養教諭として必要な専門的知識や指導力を身に付けているか。
栄養教諭(200点) 栄養教諭Aについては, 専門教養200点のうち, 「食に関する指導」 についての論述(400字程度)を含める。		

2) 筆記試験 2 (教職教養又は小論文)

選考内容・(配点)	主な評価の観点
教職教養 (論述問題を含む120点 うち特別支援教育に関する設問30点)	・教員として必要な教養が習得できているか。
小論文(120点)	・出題の意図を的確にとらえ, 自分の考えを明確にし, 適切な表現で論理的に記述できているか。

3) 集団面接

選考内容・(評価区分)	主な評価の観点
数人1組による集団面接(AからCまでの3段階評定を行う。)	・教員として必要な資質を備えているか。

4) 実技試験

採用校種・教科 (配点)		主な評価の観点		
小学校	水泳 (20点) ボール運動 (20点)	・基本的な実技動作, 運動能力を備えているか。		
中学校・高等学校	保健体育 水 泳(20点) 陸上競技(20点) 器械運動(20点) ダンス(20点) バスケットボール・バレーボール(20点) 柔道・剣道(20点)	・体育実技を指導する上での基本的技能を理解し, 身に付けているか。		
			音楽 共通試験(60点) 選択A又は選択B(60点)	・音楽を指導する上での基本的な演奏技能や表現力を身に付けているか。
			美術 絵画表現(120点)	・美術を指導する上での必要な技能や表現力を身に付けているか。

(2) 第2次選考

- ・ 模擬授業、個人面接（適性検査も含む）及び実技試験の結果を選考資料とし、第1次選考の成績、願書・履歴書の記載内容、人物証明書及び勤務証明書の記載内容を勘案して、総合的に選考する。
- ・ 模擬授業、個人面接（適性検査も含む）又は実技試験のいずれかにおいて著しく低い評価があった場合には、採用候補者名簿に登録しない。
- ・ 合格者はA、Bの2段階に区分して採用候補者名簿に登録する。

選考内容	評価区分	主な評価の観点
模擬授業	・ 模擬授業及び指導案を総合的に評価し、AからDまでの4段階評定を行う。	・ 児童生徒を惹きつける魅力、児童生徒を導く資質と能力、コミュニケーション能力を備えているか。 ・ ねらいや指導内容が適切な指導案を作成し、それに基づいた授業が展開できているか。
個人面接	・ 人物を総合的に評価し、AからDまでの4段階評定を行う。	・ 教育への情熱や学び続ける意欲等、教員としてふさわしい資質と能力を備えているか。
実技試験	・ AからEまでの5段階評定を行う。	・ 指導する上で十分な技術や能力等を身に付けているか。

V 選考結果の通知

- 1 第1次選考結果：平成28年 8月29日（月）付けで郵送する。
- 2 第2次選考結果：平成28年 10月27日（木）付けで郵送する。
- 3 選考結果の情報提供

第1次選考結果及び第2次選考結果の情報提供については、受験者全員に対して下記のとおり行う。なお、総合成績ランクについては下表のとおりとする。

- (1) 第1次選考結果：筆記試験1（専門教養）、筆記試験2（教職教養又は小論文）、集団面接の評定及び実技試験の得点、並びに選考結果の総合成績ランク
- (2) 第2次選考結果：模擬授業、個人面接及び実技試験の評定、並びに選考結果の総合成績ランク

第1次選考	
ランク	結果
A	合格者
C	不合格者の中で、上位である
D	不合格者の中で、中位である
E	不合格者の中で、下位である

第2次選考	
ランク	結果
A	採用候補者名簿（A）に登録される者
B	採用候補者名簿（B）に登録される者
C	不合格者の中で、上位である
D	不合格者の中で、中位である
E	不合格者の中で、下位である

4 Web ページへの掲載

- ・ 選考結果については、本人あての結果通知のほか、受験者への情報サービスの一環として、宮城県及び仙台市のWeb ページ並びに掲示板に合格者の受験番号を掲載する。
- ・ 正式な発表は本人あての結果通知書によるものとする。また、第2次選考結果において名簿登載者となった場合のA・B登載の別も本人あてに通知する。

- (1) URL： 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>
仙台市 <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/>
- (2) 掲示場所： 仙台市役所本庁舎東側掲示板
- (3) 掲載期間： 第1次結果 平成28年 8月29日（月）午前10時～9月5日（月）午後4時
第2次結果 平成28年 10月27日（木）午前10時～11月4日（金）午後4時

VI 名簿登載・採用

- 1 第2次選考の結果、A及びBランクの者を「平成29年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者名簿」に登載する。
- 2 名簿登載の有効期間は、平成29年4月1日から1年間とする。なお、平成29年3月31日までに免許状が取得できない者は、登載を取り消す。
- 3 教員免許更新制において、免許状の更新等をせず、平成29年4月1日に効力を失っている場合は、登載を取り消す。
- 4 小学校、中学校を志望した者に対しては、宮城県公立学校と仙台市公立学校のいずれを希望するかについて、第2次選考時の個人面接の際に調査するが、採用時に希望どおりになるとは限らない。
- 5 第2次選考の結果、名簿にB登載となった者について、平成29年度に採用されなかった場合は、同一校種・教科（科目）を受験する場合に限り、次年度の教員採用候補者選考の第1次選考を免除する。ただし、自己都合による辞退者は除く。

VII 大学院修士課程進学予定者・大学院修士課程1年在籍者等への採用候補者名簿登載猶予について

- 1 第2次選考の結果、A及びBランクの者のうち、国内の大学院修士課程（通信制課程を除く）又は教職大学院へ進学する予定、もしくは在籍中の者に対して、大学院修士課程修了までに、合格した出願区分の校種・教科等の専修免許状を取得することを条件に採用候補者名簿への登載を猶予する。
- 2 名簿登載猶予の手続きは次のとおりとする。
 - (1) 名簿登載猶予を希望する者は、出願時に「名簿登載猶予願い」を宮城県教育庁教職員課へ郵送すること。書類提出の締切については**平成28年5月19日(木)(当日消印有効)**とする。なお、期日までに提出のない者については、猶予を認めない。
 - (2) 第2次選考の結果、A及びBランクの者で、(1)の書類を提出した者は、第2次選考合格通知書に同封する「名簿登載猶予申請書」、「大学院合格通知書の写し」又は「大学院在学証明書」を**平成28年12月16日(金)(当日消印有効)**までに宮城県教育庁教職員課へ郵送する。
 - (3) 宮城県教育委員会・仙台市教育委員会が名簿登載猶予を認めた場合、該当者に許可書を郵送する。
 - (4) 大学院修士課程1年在籍者又は教職大学院1年在籍者は、平成30年度採用候補者名簿に登載する。大学院修士課程又は教職大学院への進学予定者は、平成31年度採用候補者名簿に登載する。
- 3 名簿登載期間は1年間とする。大学院修士課程1年在籍者又は教職大学院1年在籍者にあつては平成30年3月31日までに、大学院修士課程進学予定者又は教職大学院進学予定者にあつては平成31年3月31日までに、相当の専修免許状を取得できない場合には名簿登載を取り消す。

VIII 勤務条件等

1 給与（平成28年4月1日現在）

・初任給

区 分	小・中学校	県立高校・県立特別支援学校
大学院（修士）修了	228,200円	228,200円
大学卒	206,000円	206,000円
短大卒	183,400円	180,700円

・前歴加算

民間企業等における職歴がある場合には、この初任給に一定の基準による加算がある。

・諸手当

教職調整額、義務教育等教員特別手当、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当（年間4.2ヵ月）などがそれぞれの要件により支給される。

2 勤務時間等

- ・勤務時間 1週間について38時間45分
- ・休日等 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- ・休暇等 年次有給休暇（4月1日採用の場合は年間15日）、産前産後休暇、育児休業（無給）等

Ⅸ その他

1 留意点

- (1) 出願書類受付後に受験する校種・職種及び受験教科(科目)を変更することは認めない。また、第1次選考及び第2次選考いずれにおいても受験科目等のうち1つでも受験しなかった場合には、選考外とする。
- (2) 第1次選考において、所定の写真を貼付した出願者名票を持参しなかった者については、原則として受験を認めない。(出願者名票に関する問い合わせは**7月21日(木)の午後5時まで**受け付ける。)
- (3) 第2次選考において、所定の写真を貼付し、第1次選考時の受付印のある出願者名票を持参しなかった者については、原則として受験を認めない。
- (4) 第1次選考の筆記試験1及び筆記試験2において、開始時刻30分以降は入室を認めない。(公共交通機関の遅れによる場合を除く。)
- (5) 荒天、災害等の緊急の事態により、教員採用選考の日程を変更する場合や、実施方法等に関して何らかの変更が生じた場合には、宮城県教育庁教職員課のWebページにおいて連絡をする。
(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>)

2 平成28年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考結果

	小学校	中学校							中学校・高等学校				
		国語	社会	数学	理科	技術	英語	計	保体	音楽	美術	家庭	計
1次受験者	952	116	245	173	96	25	201	856	336	74	69	45	524
2次受験者	534	59	45	79	36	14	50	283	78	23	18	12	131
名簿登載者	295	34	29	42	23	6	31	165	45	15	9	6	75

	高等学校														養護 教諭	栄養 教A	栄養 教B	合計
	国語	公民	地歴	数学	理科	農業	水産	工業	商業	英語	看護	理療	福祉	計				
1次受験者	89	51	84	135	123	22	2	51	48	88	1	4	18	716	241	11	35	3,335
2次受験者	22	12	30	21	47	10	2	29	16	29	1	4	14	237	50	11	9	1,255
名簿登載者	10	3	5	8	11	3	1	6	4	12	1	2	4	70	32	9	5	651

3 前年度(平成28年度)の問題の公開について

前年度の教職教養問題及び専門教養問題とその解答例、模擬授業の課題については、以下の場所で閲覧、コピーができる。

- 県政情報センター 〈022-211-2263〉 ○ 仙台市市政情報センター 〈022-214-1239〉
- 各地方振興事務所及び地域事務所の県政情報コーナー
 - ・大河原〈0224-53-3111〉 ・北 部〈0229-91-0764〉 ・栗原地域〈0228-22-2111〉
 - ・東 部〈0225-95-1411〉 ・登米地域〈0220-22-6111〉 ・気仙沼〈0226-24-2121〉
- * 県政情報センターについては、郵送での対応も可能。詳細は上記連絡先まで問い合わせのこと。

4 第1次選考 筆記試験会場 交通案内

会 場	交通手段	下 車
宮城県仙台第一高等学校	仙台市営地下鉄(東西線)	連坊駅 (徒歩 1分)
	仙台駅西口バスプール 仙台市営バス⑤番	薬師堂駅行 連坊駅・仙台一高前下車 (徒歩 2分)
宮城県仙台二華 中学校・高等学校	仙台市営地下鉄(南北線)	五橋駅 (徒歩 7分)
	仙台市営地下鉄(東西線)	連坊駅 (徒歩 7分)
	仙台駅西口バスプール 仙台市営バス⑤番	霞の目営業所行き 五橋三丁目 (徒歩 3分)

宮城県仙台三桜高等学校	仙台市営地下鉄（南北線）		長町一丁目駅（徒歩15分）
	仙台駅西口バスプール 宮城交通⑦番	大年寺経由のバス	三桜高校前（徒歩 3分）
宮城県工業高等学校 宮城県第二工業高等学校	仙台市営地下鉄（南北線）		五橋駅（徒歩15分）
	仙台駅西口バスプール 仙台市営バス⑩番	八木山動物公園駅行 緑ヶ丘3丁目行	霊屋橋瑞鳳殿入口 （徒歩10分）
東京海洋大学 品川キャンパス	JR線 京浜急行線		品川駅港南口（東口） （徒歩 10分）

5 第1次選考 実技試験会場 交通案内

会 場	交通手段	下 車	
仙台市立荒町小学校	仙台市営地下鉄（南北線）	愛宕橋駅（徒歩 3分）	
仙台市立長町南小学校	仙台市営地下鉄（南北線）	長町南駅（徒歩 5分）	
仙台市立旭丘小学校	仙台市営地下鉄（南北線）	旭ヶ丘駅（徒歩 3分）	
仙台市立富沢小学校	仙台市営地下鉄（南北線）	富沢駅（徒歩15分）	
宮城県仙台第二高等学校	仙台市営地下鉄（東西線）		国際センター駅（徒歩 4分）
	仙台駅西口バスプール 仙台市営バス⑬番	川内営業所行 交通公園循環	二高・宮城県美術館前 （徒歩 1分）

* 各試験会場とも自家用車の乗り入れは禁止する。

仙台市交通局 HP <http://www.kotsu.city.sendai.jp/>

宮 城 交 通 HP <http://www.miyakou.co.jp/>

J R 東 日 本 HP <http://www.jreast.co.jp/>

6 問い合わせ先

宮城県教育庁教職員課 TEL 022-211-3637

仙台市教育局教育人事部教職員課 TEL 022-214-8873

（土日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分）

* 試験の内容に関する問い合わせには応じられない。

* 受験資格、電子申請等に関する「よくある質問」については、宮城県教育庁教職員課の Web ページに掲載。
(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>)